

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.109 2004.7.15

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局

Tel: 03-3704-9168 Fax: 03-3704-9246

E-mail: JSEI@hj.sanno.ac.jp <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei>

第20回定時総会招集のご通知

会長 木田 宏

第20回定時総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 2004年8月18日(水) 13:00~13:30
2. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3階310室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1 Tel 03-3467-7201)
3. 議 案 第1号議案 2003年度事業報告及び収支決算の件
第2号議案 2004年度事業計画及び予算案の件
報告事項 深谷基金教育情報研究プロジェクトについて

総会終了後、日本教育情報学会学会賞表彰式を行います。

出欠票・委任状は8月11日(水)までに返送用封筒によりご返送くださいますよう、お願いいたします。

日本教育情報学会 第20回年会 参加申込み受付中

〔事前参加受付8月10日まで〕詳しくは、別冊をご参照ください。

第1号議案に関する資料

2003年度事業報告書(自2003年4月1日 至2004年3月31日)

2003年度に実施した事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行 「教育情報研究」第十九巻第一号, 第二号, 第三号, 第四号(B5版・季刊),
・配布 「News letter」No. 103~No. 107を刊行し, 会員に配布した。
2. 総会・役員会 第19回定時総会(2003年8月9日)を開催した。
等の開催 第22回理事会・第15回評議員会(2003年8月9日)を開催した。
役員選考委員会(2003年6月3日)を開催した。
運営委員会を12回開催した。
3. 研究会等の 第19回年会(2003年8月9日・10日)を大阪府で開催した。
開催 「学校における情報共有化の現状と今後の課題」研究会(2003年12月13日)
を大阪府で開催した。
「21世紀の教育を考える会」(2003年8月6・7日)を共催により岐阜県で開催した。
日本教育情報学会賞の表彰を行い, 年会会場で表彰式を行った。
財団法人 松下視聴覚教育研究財団の委託を受け, 調査研究を行なった。

2003年度収支計算書(自2003年4月1日 至2004年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
1 会 費	3,575,000	3,200,000	375,000
(1) 専門会員費	1,900,000	1,670,000	230,000
(2) 一般会員費	1,260,000	1,176,000	84,000
(3) 賛助会員費	0	0	0
(4) 公共会員費	375,000	330,000	45,000
(5) 学生会員費	40,000	24,000	16,000
2 入 会 金	30,000	30,000	0
3 寄 付 金	0	1,000,000	-1,000,000
4 雑 収 入	400,000	1,434,514	-1,034,514
(1) 過年度会費	-	303,000	-
(2) その他の雑収入	-	1,131,514	-
5 前年度繰越収支差額	1,635,218	1,635,218	0
収 入 合 計	5,640,218	7,299,732	-1,659,514

その他の雑収入1,131,514円のうち1,000,000円は調査研究委託費

2. 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
1 管 理 費 支 出	2,110,000	1,622,676	487,324
(1) 会 議 費	50,000	125,170	-75,170
(2) 旅費・交通費	800,000	612,940	187,060
(3) 通信・運搬費	600,000	490,117	109,883
(4) 消 耗 品 費	10,000	18,120	-8,120
(5) 印刷・製本費	350,000	145,100	204,900
(6) 諸 謝 金	150,000	84,629	65,371
(7) 雑 費	150,000	146,600	3,400
2 事 業 支 出	2,730,000	3,528,040	-798,040
(1) 総 会	10,000	0	10,000
(2) 機 関 誌	2,100,000	1,924,844	175,156
(3) 研 究 会	620,000	1,603,196	-983,196
3 予 備 費	800,218	0	800,218
支 出 合 計	5,640,218	5,150,716	-994,577
次年度繰越収支差額	0	2,149,016	-2,149,016

研究会1,603,196円には, 調査研究委託費1,000,000円を含む

第2号議案に関する資料

2004年度事業計画(案)(自2004年4月1日 至2005年3月31日)

2004年度に実施する事業は次のとおりである。

1. 機関誌の発行 「教育情報研究」第二十巻第一号, 第二号, 第三号, 第四号(B5版・季刊),
・配布 「News letter」No. 108~No. 113を刊行し, 会員に配布する。
2. 総会・役員会 第20回定時総会を開催する。
等の開催 第23回理事会・第16回評議員会を開催する。
運営委員会を毎月1回開催する。
3. 研究会等の 第20回年会(2004年8月18日・19日)を東京都で開催する。
開催 「21世紀のリテラシーを考える」研究会を開催する。
「DVDレコーダーの教育利用研究会」を開催する。
その他「教育の情報化」について等の研究会を計画する。
日本教育情報学会賞の表彰を行う。
深谷基金教育情報研究プロジェクトの募集を行なう。
財団法人 松下教育研究財団の委託による調査研究を行なう。

2004年度収支予算書(案)(自2004年4月1日 至2005年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
1 会 費	3,575,000	
(1) 専門会員費	1,900,000	10,000円×190人
(2) 一般会員費	1,260,000	7,000円×180人
(3) 賛助会員費	0	100,000円×0
(4) 公共会員費	375,000	15,000円×25団体
(5) 学生会員費	40,000	4,000円×10人
2 入 会 金	30,000	1,000円×30人
3 寄 付 金	0	
4 雑 収 入	400,000	
(1) 過年度会費	250,000	
(2) その他の雑収入	150,000	
5 前年度繰越収支差額	2,149,016	
収 入 合 計	6,154,016	

2. 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
1 管 理 費 支 出	2,140,000	
(1) 会 議 費	60,000	運営委員会など
(2) 旅費・交通費	850,000	運営委員会など
(3) 通信・運搬費	600,000	機関誌発送費45万円, 事務連絡他15万円
(4) 消耗品費	30,000	
(5) 印刷・製本費	300,000	封筒, 会員証など
(6) 諸 謝 金	150,000	機関誌発送, データ入力
(7) 雑 費	150,000	コピー代, 手数料など
2 事 業 支 出	3,130,000	
(1) 総 会	10,000	定時総会
(2) 機 関 誌	2,100,000	教育情報研究, Newsletter
(3) 研 究 会	720,000	年会, 研究会, 学会賞
3 特別会計繰入金	1,000,000	深谷基金教育情報プロジェクト特別会計へ
4 予 備 費	184,016	
支 出 合 計	6,154,016	
次年度繰越収支差額	0	

＝ 「21世紀の教育を考える会」 & 「DVDレコーダーの教育利用研究会」開催 ＝

21世紀教育研究会・日本教育情報学会・(財)松下教育研究財団
学習システム研究会代表 後藤 忠彦(岐阜女子大学)

8月6日、岐阜女子大学を会場に、午前「21世紀の教育を考える会」を、午後は「DVDレコーダーの教育利用についての研究会」を開催します。ぜひ多くの方々にご参加下さるようお願いいたします。

「21世紀の教育を考える会」は、特別講演講師としてノートルダム女子大学学長 梶田 叡一先生をお招きし、「21世紀の教育とこれからの学校～新しい基礎・基本を考える～」についての講演会を行います。今後の教育の方向性を示して下さいと期待しています。

1. 会場 岐阜女子大学 〒501-2592 岐阜県岐阜市太郎丸 80 番地 (駐車場はございます)
TEL 058-229-2211 FAX 058-229-2222

2. 日程 2004年8月6日(金)

3. スケジュール

9:30 受付開始

10:00～12:00【特別講演】 梶田 叡一 氏(ノートルダム女子大学学長)
「21世紀の教育とこれからの学校～新しい基礎・基本を考える～」

13:00～16:00 実践研究発表「DVDレコーダーの教育利用研究発表」

4. 参加費 無 料

5. 申込方法 住所・氏名(所属)、電話番号を記入にし、はがき又はFAXでお申込みください。
(当日参加も受け付けますが、資料が必要な方は、事前に参加申し込みをお願いします)

6. 申込先 岐阜女子大学文化情報研究センター内 21世紀教育研究会
〒500-8813 岐阜市明徳町 10 番地 杉山ビル 4F
TEL 058-267-5237 FAX 058-267-5238

午後の部「DVDレコーダーの教育利用研究発表」

～DVDを教育現場でいかに活用したら教育効果が向上するかの調査研究～

多くの映像が記録できるDVDの教育利用が始まろうとしています。最近のDVDレコーダーの特徴として、何百時間もの映像が任意に取出すことが可能で、かつてのビデオライブラリーが教室や家庭に入ったのと同様の使い方から、生徒の学習評価まで広く利用研究が始まりました。

このため、今回、松下教育研究財団の支援を得て、「DVDを教育の現場でいかに活用したら教育効果が向上するかの調査研究」を始めました。その結果、これまでの資料の活用の他に、観察や評価まで多様な使い方の可能性があり、今後、各学校でさらなる新しい研究活動で利用されるとき参考になればと考え、次のような報告をいたします。

1. 小学校でのDVDレコーダーの活用について ～操作性についての考察～ 新田 直
2. 小学校社会科におけるDVDレコーダーの活用
社会的事象の意味を意欲的に追求し自らの生き方考える学習
～コンビニエンスストアの工夫や努力～ 河井 信幸
田中 正己
3. 中学校理科「大地の変化」におけるDVDレコーダーの活用
4. 高校英語におけるDVDレコーダーの活用について
～スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール各務原高校の実践から～ 北川 邦夫
5. DVDレコーダーの使い方
6. DVDレコーダーを用いた自作教材の作成手順
7. 教育評価活動におけるDVDレコーダーの利便性について
8. DVDレコーダーを試用してみた